

ICレコーダー

取扱説明書

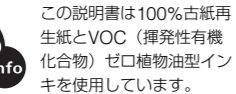
お買い上げいただきありがとうございます。

- 警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER ICD-B20EX

© 2004 Sony Corporation Printed in China



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/

ICレコーダー
ICD-B20EX
T02-1001A-1

警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したとわからない
- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が発生します。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

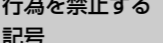
注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



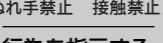
行為を禁止する記号



警告



注意



行為を指示する記号



警告

下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のある場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

国内専用機は海外で使えない

ワールドモデル以外のACパワーアダプターや充電器は、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

指定以外の充電器やACパワーアダプター、コードなどを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するよう大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤレシーバーで聞くときにご注意ください。耳がけがられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電器をさわらない

感電の原因となることがあります。

通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中の電池に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプター、充電器を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、テープレコーダーなどに録音してください。詳しくは、別紙の「ICD知得Q&A」をご覧ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・損傷による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ず守ってください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。
充電式電池 ニカド (Ni-Cd)、ニッケル水素 (Ni-MH)、リチウムイオン (Li-ion)
乾電池 アルカリ、マンガン

危険 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手液をさわらない
液が本体内部に染ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるの目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、洗ったが原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋とーを正しく入れる。
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解・加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源を使用するときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

警告 乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手が届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や昏などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋とーを正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解・加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源を使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意 乾電池について

- 火のそばや直射日光のあるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
 - 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
 - 指定された種類以外の電池は使用しない。
- お願い
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素充電電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電電池は、金属部にゼロハチテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ <http://www.bai.or.jp/> を参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

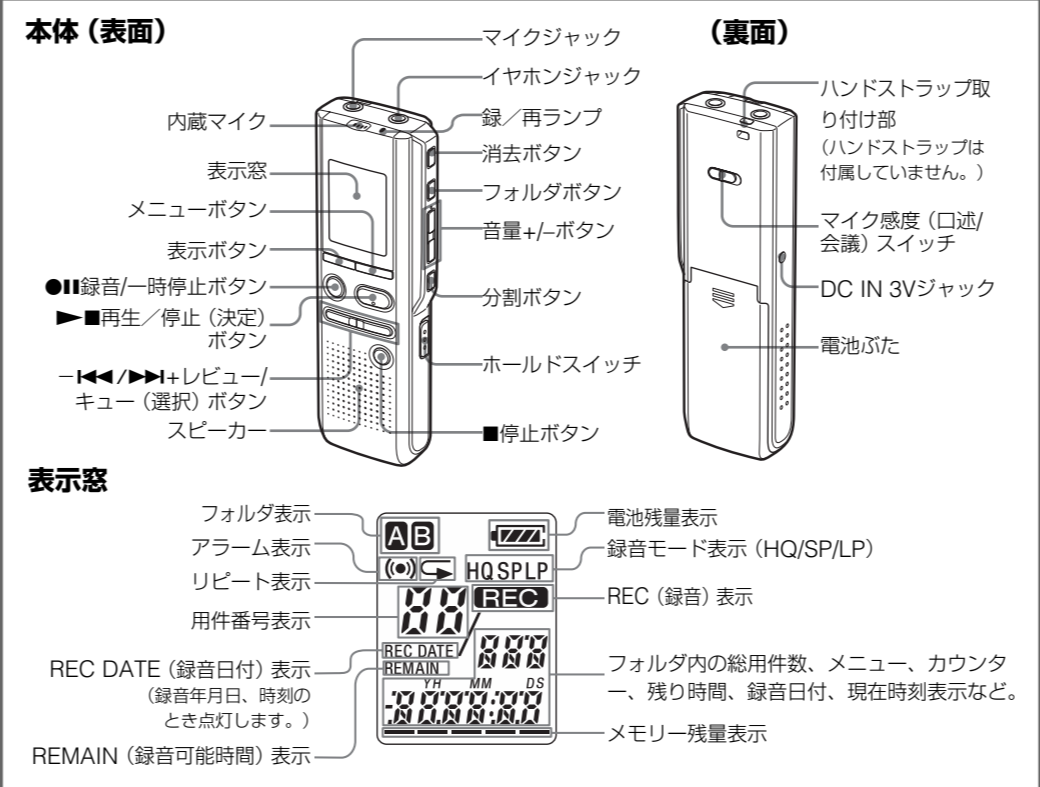
準備

準備 1：付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。

本体 (1台)	エレクトレットコンデンサーマイクロホン (電話録音用) (1個)	ACパワーアダプター (1台)	ニッケル水素充電電池専用充電器 (1台)
イヤレシーバー (1個)	イヤホン (1個)	単4形充電式ニッケル水素電池 (2個)	充電器用電源コード (1本)
キャリングポーチ (1個)	取扱説明書 (本書、1枚) 早わかりカード (1枚)	ICD知得Q&A (1枚)	ソニーご相談窓口のご案内 (1枚)

各部のなまえ



準備 2：電池を準備する

使用できる電池

本機では、以下の充電電池、乾電池をお使いになります。
●単4形充電式ニッケル水素電池2本 (付属)
●単4形充電式ニッケル水素電池 (別売り) 2本: NH-AAA-2BC
●単4形アルカリ乾電池2本 (別売り)
充電器は、以下の製品をご利用ください。
●充電式ニッケル水素電池専用充電器 (付属)
●充電式ニッケル水素電池専用急速充電器 (別売り): BCG-34HRD

乾電池の持続時間

	HQモード**	SPモード***	LPモード****
録音時	約7時間30分	約15時間30分	約15時間30分
再生時****	約5時間	約8時間30分	約9時間30分

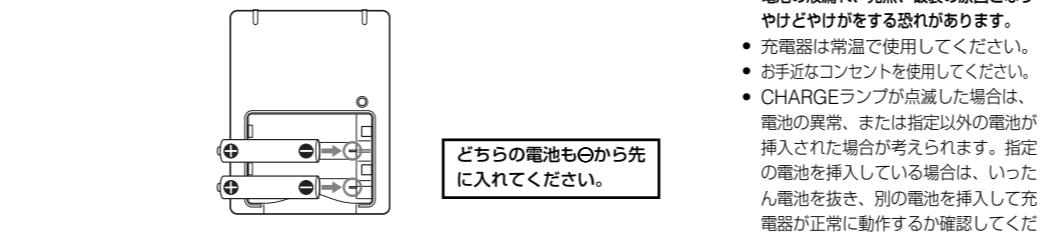
充電電池の持続時間 (ソニー充電式ニッケル水素電池 NH-AAAを連続使用時)

	HQモード****	SPモード****	LPモード****
録音時	約6時間30分	約11時間30分	約11時間30分
再生時****	約4時間	約7時間	約9時間

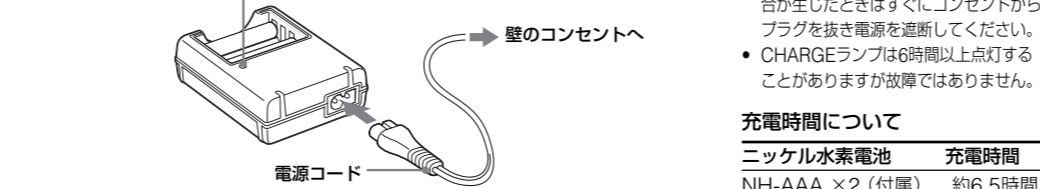
** 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
*** HQモード：高音質モード
**** SPモード：標準モード
***** LPモード：長時間モード
***** 音量+/+ボタン「15」で内蔵スピーカーで再生した場合。

準備 3：電池を充電する

1 充電器 (付属) にニッケル水素電池を⊕、⊖の表示に従って正しく入れる。



2 電源コードを充電器と壁のコンセントにつなぐ。



充電が始まり、CHARGEランプが点灯します。CHARGEランプが消灯したら充電が完了です。電源コードをコンセントから抜き、ニッケル水素電池を充電器から取り出してください。

海外で使うときは

- 付属の充電器は全世界の電源 (AC100V～240V・50/60Hz) でお使いいただけます。
- 下の図のように、付属の充電器を差し込み変換プラグアダプター [a] が必要になる場合があります。



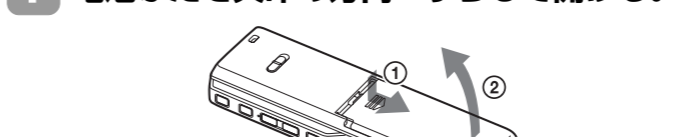
ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池は容量が残っている状態で繰り返し充電されるとメモリー効果*が発生して早めに電池残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電することで正常な状態に戻ります。
*メモリー効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象
- 周囲の温度が低いと電池の性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、電池を付属の/ツリーケースに収納した状態でポケットなどに入れて温かくしておき、ご使用の直前、本体に取り付けることをおすすめします。
- 録音には予定録音時間の2～3倍の予備電池を準備して、事前にためし録音をしてください。

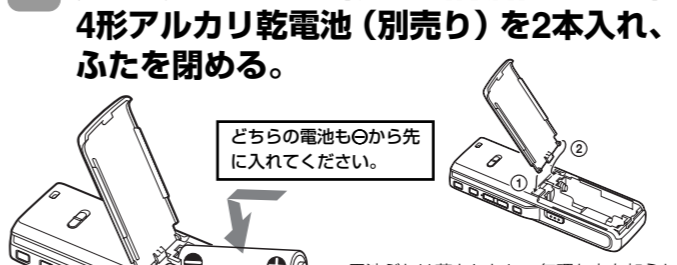
電池の寿命について
電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。寿命は、保管方法、使用状況や環境により異なります。

準備 4：電池を入れる

1 電池ふたを矢印の方向へずらして開ける。



2 充電式ニッケル水素電池 (付属) または単4形アルカリ乾電池 (別売り) を2本入れ、ふたを閉める。



電池ふたは蓋とし、無理な力を入れたりするはずれることがあります。そのときは上の図のようにおめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときは、日付表示が点滅します。「準備5: 時計を合わせる」の手順2～3をご覧ください。

準備 5：時計を合わせる

1 時計設定画面を表示する。

タイマー録音やアラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時計合わせをなくする必要があります。

1 時計設定画面を表示する。

① メニューボタンを押す。メニューモードに入ります。

② ←←または→→ボタンを押して「[SET DATE]」を表示させる。

2 年月日を合わせる。

① ←←または→→ボタンを押して「年」の数字を選ぶ。

② 同様にして、「月」、「日」を合わせ、→→再生/停止ボタンを押す。「時」の数字が点滅します。

3 時分を合わせる。

① ←←または→→ボタンを押して「時」の数字を選ぶ。

② 同様にして、「分」を合わせる。

③ 時分と同時に→→再生/停止ボタンを押す。「[SET DATE]」表示に戻ります。

④ →→再生/停止ボタンを押す。「分」の数字が点滅します。

⑤ 同様にして、「分」を合わせる。

⑥ メニューボタンを押す。

* 本機には電源スイッチはありません。表示窓には常に表示が出ています。

ご注意

- 変換プラグアダプター [a] / 電源コンセント [b] の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子変圧器 (トランスコンバーター) はご使用にならないでください。故障の原因となります。

ニッケル水素電池使用上のご注意

- 電池は防水構造ではないため、水などにぬらさないようご注意ください。
- 電極が汚れていると、正常に充電できない場合があります。電池の電極と充電器の端子の汚れを、時々いたばなで拭き取ってください。
- ニッケル水素電池を使用しないときでも自然放電により容量が低下します。お買い上げ時や、長い間使用していない場合、本機をご使用する直前に必ず充電してください。この場合、充分充電されないことがあります。電池の特性によるもので故障ではありません。充電して使用するごとに数回繰り返すと、正常な状態に戻ります。
- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。
- 指定以外の高容量電池を充電した場合、表の容量を得ることができないことがあります。

ご注意

- 乾電池を交換する際、または充電電池を充電する際、消耗した電池を抜いてから3分以内に別の充電電池または新しい乾電池を入れ、時計設定画面 (日付表示が点滅) に戻ってしまったり、日付、時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 乾電池を交換するとき、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 付属のAC (ワ) アダプター使用時は、電池残量表示は表示されません。
- 充電電池が満充電状態でも、本機に入れたときに電池残量表示がフル状態を示さない場合があります。

ご注意

- 乾電池を交換する際、または充電電池を充電する際、消耗した電池を抜いてから3分以内に別の充電電池または新しい乾電池を入れ、時計設定画面 (日付表示が点滅) に戻ってしまったり、日付、時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 乾電池を交換するとき、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 付属のAC (ワ) アダプター使用時は、電池残量表示は表示されません。
- 充電電池が満充電状態でも、本機に入れたときに電池残量表示がフル状態を示さない場合があります。

ご注意

- 乾電池を交換する際、または充電電池を充電する際、消耗した電池を抜いてから3分以内に別の充電電池または新しい乾電池を入れ、時計設定画面 (日付表示が点滅) に戻ってしまったり、日付、時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 乾電池を交換するとき、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 付属のAC (ワ) アダプター使用時は、電池残量表示は表示されません。
- 充電電池が満充電状態でも、本機に入れたときに電池残量表示がフル状態を示さない場合があります。

基本的な使いかた

用件を録音する

AまたはBのフォルダそれぞれに99件まで、合計198件の用件を録音できます。

●録音一時停止ボタンを押すと、自動的に一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始まります。例： 用件1 用件2 新しい用件 空きスペース

1 録音モードを選ぶ。

設定方法については、裏面「録音モードを設定する」をご覧ください。

2 録音したいフォルダを選ぶ。

フォルダボタンを押して用件を録音したいフォルダを選択させる。

フォルダの種類
録音可能時間について
最大録音時間は、全フォルダ合わせて2分30秒です。録音可能な残り時間は「残り時間表示モード」で確認できます。
HQモード** SPモード*** LPモード****
3時間40分 9時間50分 16時間10分
** HQモード：高音質モード
*** SPモード：標準モード
**** LPモード：長時間モード

3 録音を始める。

① 停止中に、●録音一時停止ボタンを押す。
●録音一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

録/再ランプ (録音中は赤く点灯)
イヤホンジャック**
② 内蔵マイクに向かって話す。
表示ボタンで設定した表示が表示されます。
** 付属または別売りのイヤレシーバーをイヤホンジャックに差し込むと、録音中の音をモニターできます。モニター音は音量+/+ボタンで調整できます。(録音レベルは一定です。)

4 録音を止める。

●録音一時停止ボタン録音が一時停止します*。
●再生/停止ボタン録音が解除され、今録音した用件のはじめから聞けることができます。

●録音一時停止ボタン録音中に残り時間が5分を切るとメモリー残量表示が点滅し、残り時間が1分を切ると「REMAIN」の表示と設定したメモリーがいっぱいになると、自動的に録音は止まり、警告音が鳴り、「FULL」表示が点滅します。不要な用件を消去してください。

●再生/停止ボタン録音が解除され、今録音した用件のはじめから聞けることができます。

●録音一時停止ボタン録音が一時停止します*。
●再生/停止ボタン録音が解除され、今録音した用件のはじめから聞けることができます。

●録音一時停止ボタン録音が一時停止します*。
●再生/停止ボタン録音が解除され、今録音した用件のはじめから聞けることができます。

録音した用件を聞く

あらかじめ録音してある用件を選んで聞くと、手順1から操作していただけます。今録音したばかりの用件を聞くには、手順3から行ってください。

1 フォルダを選ぶ。

フォルダボタンを押して再生したい用件を録音したフォルダを表示させる。

2 用件番号を選ぶ。

←←または→→ボタンを押して再生したい用件の番号を表示させる。
←←前の用件へ
→→次の用件へ

3 再生を始める。

① →→再生/停止ボタンを押す。

② 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

③ 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

4 再生を止める。

① →→再生/停止ボタンを押す。

② 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

③ 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

④ 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

⑤ 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

⑥ 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

⑦ 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

⑧ 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

⑨ 再生/停止ボタンを押す。再生中に再生したいところを聞きます。

録音するときのご注意

- 録音/再ランプが赤く点灯・点滅中は電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- マイクジャックにオーディオコードをつないでいるときは、内蔵マイクの録音はできません。つないだ機器またはコードをはずしてください。
- 録音中、本機に手などがあたってり、こすったりすると録音が書きだされてしまいます。

録音可能時間について

最大録音時間は、全フォルダ合わせて2分30秒です。録音可能な残り時間は「残り時間表示モード」で確認できます。
HQモード** SPモード*** LPモード****
3時間40分 9時間50分 16時間10分
** HQモード：高音質モード
*** SPモード：標準モード
**** LPモード：長時間モード

ご注意

- より良い音質で録音したいときは、メニューの「MODE」(録音モード) でHQモードを選んでください。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示を確認してください。
- 長時間録音直前の電池交換を避けたいときは、付属のAC (ワ) アダプターをお使いください。
- 録音モードを混在して録音した場合、最大録音時間は任意に変化します。

メモリー残量表示について

残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。

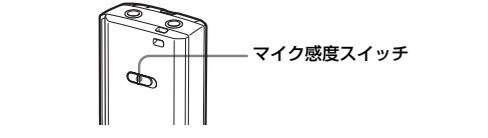
▶いろいろな録音のしかた

用途に合わせてマイクを使う

内蔵マイクは標準感度、全指向性マイクロホンです。口述録音や会議の録音では内蔵マイクのご使用をおすすめします。講演や会議の発表者など、特定の方向の音を録音する場合には、別売りの単一指向性マイクのご使用をおすすめします。また、付属のイヤホン型マイクを使うと、電話の会話録音ができます。

内蔵マイクの感度を切り換える

マイク感度スイッチの位置を切り換え、用途に合わせて、内蔵マイクの感度を選ぶことができます。



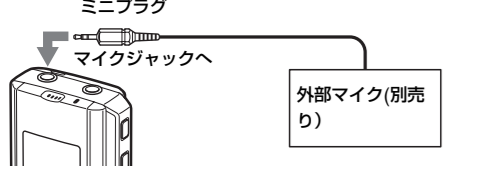
ICレコーダーへ入りに抵抗なしオーディオコードを使用すると音声は途切れ録音されることがあります。必ず抵抗入りオーディオコードをお使いください。

会議 小さな音を大きくするとともに、全体の録音レベルを最適な状態でバランスのとれた録音を実現します。広い会議室での録音など、速くの音や小さい音を録音するときに使用します。

口述 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

外部マイクで録音する

本機のマイクジャックに別売りのミニプラグ付きマイクロホンをつなぎます。外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

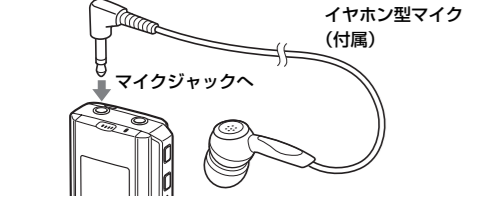


イヤホン型マイクで電話の音を録音する

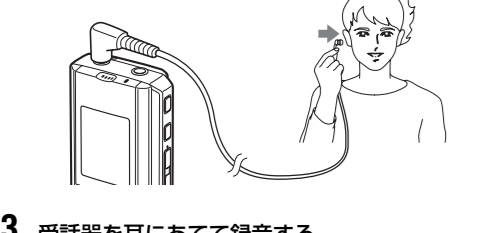
付属のイヤレットコンデンサーマイクロホンは、受話器を耳にあてて電話の音を録音するイヤホン型のプラグインパワー対応のマイクです。通話中、相手の声と自分の声を録音できます。（固定電話/携帯電話で使用可能）

1 イヤホン型マイク（付属）をマイクジャックに差し込む。

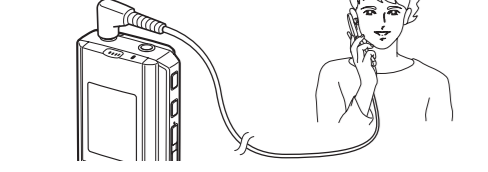
イヤホン型マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、イヤホン型マイクの音を録音します。マイクの電源は本機から供給されます。



2 イヤーピースを耳に装着する。

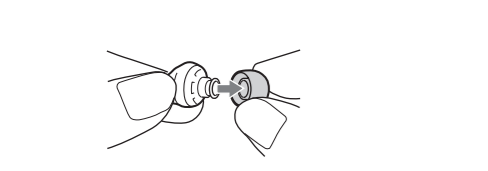


3 受話器を耳にあてて録音する。



■ご注意
イヤレシーバーとしてはお使いになれません。

イヤピースの正しい装着方法
自分の声を十分な音量で録音するためには、イヤピースをびったりと耳に装着させるようにしてください。お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたとき、十分な音量で録音できないときは、イヤピースをおさまりの良い位置に調整したり、耳の奥まで押し込んだり、付属のLサイズやSサイズに交換してください。

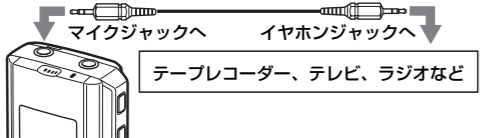


■ご注意
VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度スイッチを「会議」または「口述」に切り換えてください。マイク感度を切り換えても思い通りに録音できないときや、大切な録音するときは、VORを「OFF」にしてください。

他の機器を使って録音する

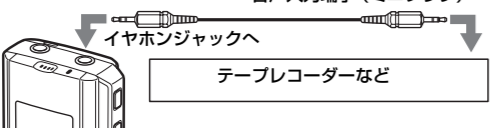
他の機器の音声を録音する

他の機器の音声を録音するには、本機のマイクジャックと他の機器（テープレコーダーやテレビ、ラジオなどの）イヤホン端子を、別売りのオーディオコード（抵抗入り）を使ってつなぎます。



■ご注意
ICレコーダーへ入りに抵抗なしオーディオコードを使用すると音声は途切れ録音されることがあります。必ず抵抗入りオーディオコードをお使いください。

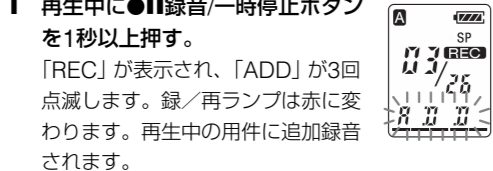
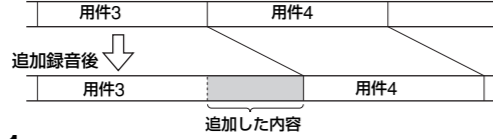
本機の音声を他の機器で録音する
他の機器で本機の音声を録音する場合は、本機のイヤホンジャックと他の機器の音声入力端子（ミニプラグ）につなぎます。



その他の接続方法については、別紙の「ICD知っ得Q&A」をご覧ください。

録音済みの用件に追加録音する

用件を再生中に、その用件に追加して録音することができます。新しく追加した内容は、再生中の用件の最後に再生中の用件の一部として追加されます。
用件3再生中



1 再生中に**●**録音/一時停止ボタンを1秒以上押す。「REC」が表示され、「ADD」が3回点滅します。録/再ランは赤に変わります。再生中の用件に追加録音されます。

2 ■停止ボタンを押して録音を止める。

■ご注意
メモリー残量が不足している場合は追加録音できません。詳しくは「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

音がしたとき自動的に録音を始める—デジタルVOR機能

メニューでデジタルVOR（自動音声スイッチ）を「ON」にすると音がしたときに自動的に録音できます。

ON: ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まります。

OFF: ●録音/一時停止ボタンで録音を開始、停止します。（初期設定）

1 メニューボタンを押す。メニューモードに入ります。

2 ←←または▶▶+ボタンで「IVOR OFF」または「IVOR ON」を選ぶ。

3 ▶再生/停止ボタンを押す。「OFF」または「ON」が点滅します。

4 ←←または▶▶+ボタンで「ON」または「OFF」を選び、▶再生/停止ボタンを押す。

5 メニューボタンを押す。設定が有効になり、通常の画面に戻ります。VORを「ON」に設定し、●録音/一時停止を押して録音を始めると、「IVOR」が表示されます。音が小さくなり録音が自動的に一時停止すると、「IVOR PAUSE」が点滅します。

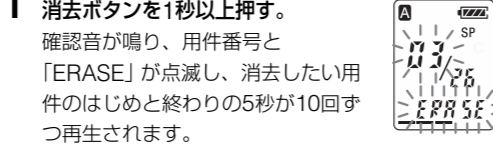
■ご注意
VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度スイッチを「会議」または「口述」に切り換えてください。マイク感度を切り換えても思い通りに録音できないときや、大切な録音するときは、VORを「OFF」にしてください。

▶用件の編集と特殊再生 用件を別のフォルダに移動する 録音した用件を消去する

1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去することができます。用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間空白部分は残りません。

例：フォルダAの用件3をフォルダBに移動する場合
1 移動させたい用件を再生する。



1 消去ボタンを1秒以上押す。確認音が鳴り、用件番号と「ERASE」が点滅し、消去したい用件のはじめと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

2 「ERASE」の点滅中に消去ボタンをもう1度押す。用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。

（例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。）

途中で消去をやめるには
手順2の前に■停止ボタンを押します。

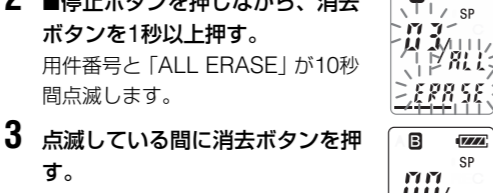
他の用件を消去するには
手順1と2を繰り返します。

ひとつの用件の一部分だけ消去するには
用件分割で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分の用件番号を選んで手順1と2の操作をします。

■ご注意
一度消去した内容はもとに戻すことはできません。

フォルダの中身を一度に消去する

ひとつのフォルダの中すべての用件を一度に消去することができます。



1 フォルダボタンを押して、フォルダを選ぶ。

2 ■停止ボタンを押しながら、消去ボタンを1秒以上押す。用件番号と「ALL ERASE」が10秒間点滅します。

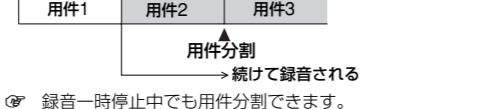
3 点滅している間に消去ボタンを押す。途中で消去をやめるには
手順3の前に■停止ボタンを押します。

用件をふたつに分ける—用件分割

録音または再生中、用件分割をするとひとつの用件がふたつに分かれ、その場所に新しい用件番号が付きます。会議など1件の用件が長時間になったとき、用件分割をすると、再生したい場所がすばやく探して便利です。分割した用件が入っているフォルダの用件数が99件になるまで用件分割できます。

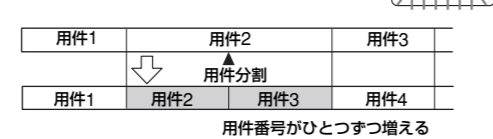
■ご注意
• 分割した用件は再結合できません。
• 頻繁に用件分割をすると、分割できなくなる場合があります。
• アラーム設定した用件を分割すると、分割した後の用件にはアラーム設定は残りません。
• 用件のはじめから1秒までの間では用件分割できません。

録音または再生中に、用件を分割をしたいところで分割ボタンを押す。
• 録音中に押したときは：押したところから新しい用件番号がつき、その番号と「DIVIDE」が3回点滅します。ふたつの用件として録音されますが、途切れず続けて録音できます。



☞ 録音一時停止中でも用件分割できます。

• 再生中に押したときは：押したところで用件が分割され、新しい用件番号と「DIVIDE」が3回点滅します。以降の用件番号はひとつずつ送られます。



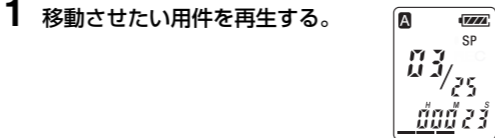
用件分割した部分を探して聞くには
分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すと同時に←←または▶▶+ボタンを押して再生する部分を探してください。

☞ 分割した用件を続けて聞くには
メニューのコンティニュー再生「CONTI」を「ON」を選んで便利です。

用件を別のフォルダに移動する—ムープ

録音済みの用件を、他のフォルダに移動させることができます。

例：フォルダAの用件3をフォルダBに移動する場合



2 用件の再生中にフォルダボタンを押して、移動先のフォルダを点滅させる。

移動先のフォルダ（この場合は「B」）と「MOVE」表示が点滅し、用件の頭の5秒と最後の5秒が10回繰り返して再生されます。

3 ▶再生/停止ボタンを押す。用件が移動先のフォルダに移動します。そのフォルダの録音日時順にしたがった場所に挿入されます。

途中でフォルダの移動をやめるには
手順3の前に■停止ボタンを押します。

■ご注意
ムープ機能を使って用件を移動すると、もとのフォルダからは用件がなくなり、移動先のフォルダのみに入ります。（用件をコピーする機能ではありません。）

希望の時刻に再生を始める—アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。

1 再生したい用件を表示させる。

2 アラーム設定を「ON」にする。
①メニューボタンを押す。メニューモードに入ります。
②←←または▶▶+ボタンで「ALARM OFF」を選ぶ。（すでにその用件がアラーム設定されていると「ALARM ON」が表示されます。）

■ご注意
時刻設定をしていない場合や、用件が録音されていない場合はアラーム設定はできません。
③▶再生/停止ボタンを押す。「OFF」または「ON」が点滅します。

④←←または▶▶+ボタンで「ON」を選ぶ。

⑤▶再生/停止ボタンを押す。「DATE」が点滅します。

⑥▶再生/停止ボタンを押す。「DATE」が点滅します。

3 アラーム再生する日を設定する。
●日付（DATE）を指定する場合
①「DATE」点滅中に▶再生/停止ボタンを押す。「月」表示が点滅します。
②←←または▶▶+ボタンで「月」の数字を選び、▶再生/停止ボタンを押す。「日」表示が点滅します。
③←←または▶▶+ボタンで「日」の数字を選ぶ。

●週に1回再生したい場合
←←または▶▶+ボタンで希望の曜日（「SUN」～「SAT」）を表示させる。

●毎日決まった時刻に再生したい場合
←←または▶▶+ボタンで「DAILY」を表示させる。

4 ▶再生/停止ボタンを押す。「時」表示が点滅します。

5 アラーム再生する時刻を設定する。
①←←または▶▶+ボタンで「時」の数字を選び、▶再生/停止ボタンを押す。

「分」表示が点滅します。

②←←または▶▶+ボタンで「分」の数字を選び、▶再生/停止ボタンを押す。「ALARM ON」が表示されます。

6 メニューボタンを押す。通常の画面に戻ります。アラーム設定された用件には「*」が表示されます。

設定した時刻になると、約10秒間アラーム音が鳴り、選んだ用件の再生が始まります。アラーム再生中は、「ALARM」が点滅します。再生が終わると、自動的に停止します（アラーム再生した用件の頭に戻ります）。

アラーム再生された用件をもう一度聞くには
▶再生/停止ボタンを押すと、その用件のはじめから再生されます。

用件が再生される前に止めるには
アラーム音が鳴っている間に■停止ボタンを押します。ホールドスイッチが入っていても止められます。

アラーム設定を解除するには
手順2②で「OFF」を選んで▶再生/停止ボタンを押します。

アラーム設定内容を変更するには
手順1～2を行い、現在設定されているアラーム再生日が表示されたら手順3～6で新しい内容で設定します。

■ご注意
時計設定されていない場合は、「SET DATE」が表示され、アラーム設定できません。
すでに他の用件でアラーム設定されているのと同じ時刻を設定しようとする、「PRE SET」が表示され、アラーム設定はできません。
• アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラーム再生が始まります。
• 録音中にアラーム設定した時刻になると、録音終了後にアラーム音が鳴ります。「*」のみが点滅します。
• 録音中にふたつ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみ再生されます。
• メニューモード中にアラーム設定時刻になった時は、メニューモードが中止され、アラームが鳴ります。
• アラーム再生を設定した用件を消去すると、アラーム設定は無効になります。
• アラーム再生を設定した用件を分割した場合、分けた点より前の部分のみアラーム再生されます。
• 再生音の大きさは、音量+ボタンで調節できます。ちょうど良い音量に設定してお使いください。
• 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときに10秒間アラーム音が鳴り、用件が再生されます。
• 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

希望の時刻に再生を始める

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。

1 再生したい用件を表示させる。

2 アラーム設定を「ON」にする。
①メニューボタンを押す。メニューモードに入ります。
②←←または▶▶+ボタンで「ALARM OFF」を選ぶ。（すでにその用件がアラーム設定されていると「ALARM ON」が表示されます。）

■ご注意
時刻設定をしていない場合や、用件が録音されていない場合はアラーム設定はできません。
③▶再生/停止ボタンを押す。「OFF」または「ON」が点滅します。

④←←または▶▶+ボタンで「ON」を選ぶ。

⑤▶再生/停止ボタンを押す。「DATE」が点滅します。

⑥▶再生/停止ボタンを押す。「DATE」が点滅します。

3 アラーム再生する日を設定する。
●日付（DATE）を指定する場合
①「DATE」点滅中に▶再生/停止ボタンを押す。「月」表示が点滅します。
②←←または▶▶+ボタンで「月」の数字を選び、▶再生/停止ボタンを押す。「日」表示が点滅します。
③←←または▶▶+ボタンで「日」の数字を選ぶ。

●週に1回再生したい場合
←←または▶▶+ボタンで希望の曜日（「SUN」～「SAT」）を表示させる。

●毎日決まった時刻に再生したい場合
←←または▶▶+ボタンで「DAILY」を表示させる。

4 ▶再生/停止ボタンを押す。「時」表示が点滅します。

5 アラーム再生する時刻を設定する。
①←←または▶▶+ボタンで「時」の数字を選び、▶再生/停止ボタンを押す。

▶その他の機能 録音モードを設定する

メニューで、用途に応じて録音モードを設定します。
HQ: 音質を重視する大切な録音。
SP: 通常の録音（初期設定）。
LP: 音質を重視しない簡易な録音。

1 メニューボタンを押す。メニューモードに入ります。「MODE」が表示されます。

2 ▶再生/停止ボタンを押す。「SP」または「HQ」、「LP」が点滅します。操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらしてください。

3 ←←または▶▶+ボタンで選択したい録音モードを選び、▶再生/停止ボタンを押す。

4 メニューボタンを押す。設定が有効になり、通常の画面に戻ります。設定された録音モードが表示されます。

ピーブ音を設定する

操作時の受け付け確認やエラーのピーブ音（ビーツという音）を鳴らさないように設定できます。

ON: 操作時の受け付け確認音およびエラー音が鳴ります。（初期設定）

OFF: 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません（アラームは鳴ります）。

1 メニューボタンを押す。メニューモードに入ります。

2 ←←または▶▶+ボタンで「BEEP ON」または「BEEP OFF」を選ぶ。

3 ▶再生/停止ボタンを押す。「ON」または「OFF」が点滅します。

4 ←←または▶▶+ボタンで「OFF」または「ON」を選び、▶再生/停止ボタンを押す。

5 メニューボタンを押す。設定が有効になり、通常の画面に戻ります。

ピーブ音の意味	意味
ビーツ	操作時の受け付け確認音
ビビ	特定のモードに入ったとき、解除されたときの確認音
ビビビ	エラー音（例：録音、早送り、早戻しできない。）
ビビビビ	エラー音（電池の残量不足。）
ビビビビビ	アラーム音

1 メニューボタンを押す。メニューモードに入ります。

2 ←←または▶▶+ボタンで「CONTI OFF」または「CONTI ON」を選ぶ。

3 ▶再生/停止ボタンを押す。「OFF」または「ON」が点滅します。

☞ 現在時刻表示について
停止中に秒以上何も操作しないと、表示モードに関係なく、現在時刻表示になります。

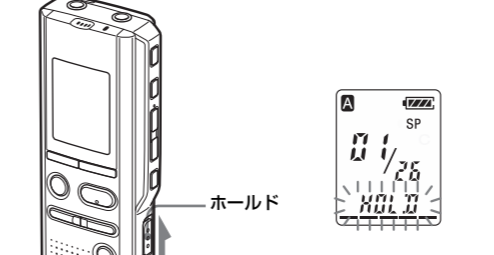
残り時間（REMAIN）表示モード
停止中、録音中は録音可能な残り時間を表示します。再生中は、その用件の残り時間を表示します。

録音年月日（REC DATE）表示モード
用件を録音した日付けを表示します。（時計を合わせていない場合は「-Y-M-D」と表示されます。）

録音時刻（REC DATE）表示モード
用件を録音した時刻を表示します。（時計を合わせていない場合は「-:」と表示されます。）

カウンター表示モードに戻る

誤操作を防止する—ホールド機能



ホールドスイッチを矢印の方向にずらしまず。「HOLD」が3回点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。

操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらしてください。

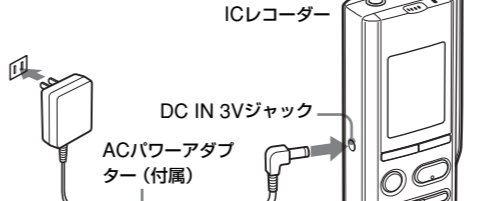
■ご注意
録音中にホールドした場合、録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

☞ ホールド中でもアラーム再生は止められます。アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには■停止ボタンは使えます。（通常の用件再生は停止できません。）

家庭用電源につないで使う

長時間録音などをする場合は、家庭用電源（コンセント）で使うと、電池消耗の心配がなく便利です。

1 DC IN 3Vジャックに、付属のAC/ワアアダプターをつなぐ。



2 AC/ワアアダプターをコンセントにつなぐ。

■ご注意
この用品には、付属のAC/ワアアダプター（極性統一型プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のAC/ワアアダプターを使用すると、故障の原因 極性統一型プラグとなることがあります。
• 録音中（録/再ランが赤に点灯・点滅）やアクセス中（録/再ランが点滅し、「ACCESS」表示中）はAC/ワアアダプターを抜かないください。データが破損するおそれがあります。
なお、用件数が多いと、「ACCESS」表示が長時間表示される場合がありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

録音レベルが小さい。
• マイク感度が「口述」になっている。
→マイク感度スイッチで「会議」に切り換える。

録音が途中で止まる。
• デジタルVORが作動している。VORを使用しないときは、VORを「OFF」にする。

録音レベルが不安定。（音楽などを録音したとき）
• 本機は会議などの録音の際、自動的に録音レベルを調整するよう設計されているため、音楽などの録音には適していません。

時計表示が「---」になる。
REC DATE表示が「-Y -M -D」または「-:-」になる。
• 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されません。

「SET DATE」が表示され、アラーム再生が設定できない。
• 時計を合わせていない場合は設定できません。

「PRE SET」が表示され、アラーム再生が設定できない。
• すでに他の用件でアラーム設定されているのと同じ時刻を設定しようとする、設定できません。

電池の持続時間が短い。
• 乾電池の持続時間は、音量+/ボタン「15」付近で内蔵スピーカで再生した場合の目安です。使用条件によっては短くなる場合があります。

最大録音時間で録音できない。
• ひとつのフォルダ内で、99件を超えると、それ以上用件は録音できません。
• HQ、SPとLPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はHQ、SPとLPモードの最大録音時間の間になります。

• 最小録音単位があるため、用件の数が多いと、端数が出ることでより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなる場合があります。
• 最小録音単位より長い用件の場合でも、端数が出た場合は、同様実際の録音時間より多く残り時間が減ることがあります。

• 以上の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「残り時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。

用件分割ができない。
• ひとつのフォルダ内で、99件を超えると、用件分割はできません。
• 頻繁に用件分割をすると、用件分割ができなくなる場合があります。

正常に動作しない。
• 乾電池を取り出し、もう一度入れ直す。

▶その他 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、パーソナルオーディオ・カスタマーサポートページをご覧ください。お客様ご相談センターまでお問い合わせください。なお、修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

ご使用場所について
• 運転中のご使用は危険ですのでやめください。

操作ボタンを押しても動作しない。
• 乾電池の電との向きが正しくない。
• 乾電池が消耗している。
• ホールドスイッチが入っている。（ボタンを押すと「HOLD」表示が3回点滅します。）

スピーカから音が出ない。
• イヤーレシーバーが差し込まれている。
• 音量が絞られている。

「FULL」が点滅し、録音できない。
• メモリー残量が不足している場合は追加録音できません。追加される部分は、新たに録音される部分の録音が終わってから消去されるため、録音できるのは、現在の残り録音可能時間のみです。

追加録音できない。
• 水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

主な仕様

録音方式	内蔵フラッシュメモリー使用、容量32MB、モノラル録音
最大録音時間	HQ: 3時間40分 <p>SP: 9時間50分 <p>LP: 16時間10分</p></p>
周波数範囲	HQ: 250～6,800 Hz <p>SP: 220～3,400Hz <p>LP: 220～3,400Hz</p></p>
スピーカ入・出力端子	直径20mm <p>イヤホン（ミニジャック/モノラル） <p>出力：負荷インピーダンス 8～300Ω <p>マイク（ミニジャック/モノラル） <p>入力：プラグインパワー対応、最小入力レベル0.6mV</p></p></p></p>
実用最大出力電源	250mW <p>DC 3V</p>
最大外形寸法	単4形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池2本使用 <p>約30.0x103.5x16.0mm <p>（幅・高さ/奥行）最大突起部含まず</p></p>
質量	58g（アルカリ乾電池LR03 2本含む）
付属品	エレクトレットコンデンサーマイクロホン（電話録音用イヤホン型マイク）（1）/AC/ワアアダプター（1）/ニッケル水素電池専用充電器（1）/充電器用電源コード（1）/充電式ニッケル水素電池単4形（2）/イヤレシーバー（1）/キヤリングポーチ（1）/取扱説明書（1）/早わかりカード（1）/ICD知っ得Q&A（1）/